

教育行政職員は、教育委員会事務局や各教育機関において、教育施策の策定や推進、予算の編成・執行、教育施設の整備、教職員の採用・配置など、教育振興に関する企画立案等を行います。

また、公立学校において、学校施設や教材の整備、教職員の給与管理など、教育活動全般に関わる事務を行うほか、学校運営上の課題等に対して行政職員の視点から提案したり、保護者や地域の方への情報発信など、教育活動を推進する上で重要な役割を担っています。

教育行政職員に求められる職員像

1 教育への深い理解と豊かな人間性を持つ魅力ある職員

- ❖ より良い宮崎県にしていくための重要な役割を担っていることを意識し、教育に対する知識や理解を深められる職員
- ❖ 地域に愛着を持ち、県民（地域住民、施設利用者、児童生徒や保護者等）と真摯に向き合い、対話し、理解と信頼を得られる職員

2 広い視野を持ち、社会の変化に対応して成長し続ける職員

- ❖ 常に広い視野で新しい情報を吸収し、業務改善や新しい施策展開、自らの能力向上のために成長し続ける職員

3 目標達成のため、組織の一員として協力し挑戦する職員

- ❖ 自分の所属だけでなく、教育を担う一員としての自覚を持ち、お互いに連携・協力し、積極的にチャレンジする姿勢を持つ職員

先輩職員
Voice 1

◆ 多くの人に教育委員会を知っていただくために

内定の連絡をいただいた際、知事部局か教育委員会かでとても迷いましたが、教育や子どもたちに関わりたいという気持ちの方が大きかったため、最終的には教育委員会を選びました。教育委員会に入って面白さを感じることは小・中・高でお世話になった先生方と再会し、一緒に働いていること。まさか一緒に働くとは思ってもみなかったのだから感慨深いです。

目立つ業務としては、現在、教育委員会の Twitter や YouTube、UMK の「のびよ！みやざきっ子」というテレビ番組を担当しています。「この前、彩花が出る YouTube が大学で流れたよ」と友人から突然連絡が来たときや、番組視聴者から寄せられる、各学校の特徴的な活動に対する驚きや感心の声、「楽しい番組をありがとう」などの感謝の声を聴いたときは、ちゃんと届いてるんだなと嬉しく感じます。皆さんも是非見てみてくださいね！



教育庁教育政策課

関 彩花

(令和3年度入庁)

◆ 子どもたちのキラキラした表情に感動！

昨年度、スポーツや文化芸術のスペシャリスト等に触れる機会を通して、コロナ禍で頑張っている子どもたちを応援する「元気・夢 応援プロジェクト」という事業の一貫で、延岡しろやま支援学校高千穂校で開催された LIVE に立ち会いました。LIVEが始まる前に「今日は僕たちのためにアルケミストさんを選んでくれてありがとうございます。LIVEを見るのは初めてなので楽しみです！」と自分から挨拶に来てくれた生徒の素直さや、あまり間近で音楽鑑賞をしたことがない子どもたちの“楽しそうでキラキラした表情”に本当に感動しました。子どもたちのために何かもっと楽しいことをしてあげたいと思えた出来事です。



今後は学校事務、図書館や美術館などの出先機関での業務も経験し、教育委員会の中でも自分に何がまっているのか、ゆっくり探していきたいです。現時点の想いとしては、できるだけ子どもたちの近くで仕事をしたいですね。

【受験者へのメッセージ】

教育委員会に来てくれる方も知事部局を選ぶ方も「どちらも可」を選んで身を委ねる方も、私を見かけたら「パンフレット見ました」と気軽に声をかけてください！ただただ喜びます(笑)。皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。

MRT「みらい・みやざき まなび隊」
毎週土曜 午後4時45分～
UMK「のびよ！みやざきっ子」
毎週日曜 午前9時50分～



Twitter



YouTube



県立佐土原高等学校

小竹 結花

(令和3年度入庁)

◆ 生徒から元気をもらい、充実した毎日

大学進学で県外に出たことで地元の良さをより感じ、宮崎のために働きたいという気持ちを強く持ちました。また、学生時代、進路のことで先生方にとっても親身になっていただいたことから、私も生徒のサポート、応援をしたいと思い、教育委員会を希望しました。学生時代には中々知ることが出来なかった学校事務職員としての業務を経験し、いかに学校運営に重要な存在であるかを実感しています。

また、社会人になってから学校行事に参加することは中々無いことかと思いますが、生徒から元気をいただく機会が多く、私は毎日がとても楽しく充実しています。

◆ 難しくてもやりがいのある仕事

現在私は、就学支援金、奨学給付金の申請や教科で使用する物品の支払いなどを担当しています。具体的には、支援金、給付金の案内文書を保護者に配付し、申請手続を行ったり、先生方が提出した請求書をもとに、支払いの処理を行ったりしています。支援金や給付金の支給条件を理解し、保護者にわかりやすく説明できるかという点が難しいところですが、とてもやりがいのある業務です。

◆ 感謝の声をいただいたとき、役に立てた喜びを実感

給付金が該当するかについて問い合わせがあった際、判断が難しい内容だったため高校教育課の給付金担当者に相談し、保護者へヒアリングを行った上で該当することをお伝えできたことが特に印象に残っています。

保護者のホッとした声と感謝の言葉をいただいたときに、生徒や保護者の役に立てているのかも実感することができました。

常に勉強する気持ちを忘れず、学校の窓口として生徒、保護者、県民の皆さまへ適切な対応ができるよう努めたいと思います。



先輩職員 Voice 3

◆ 資格や知識を仕事に生かしたい

大学では考古学を専攻し、歴史資料や文化財の保全・保護、資料化について学びました。教員免許や学芸員資格など、自分が持っている資格や知識を、宮崎県の歴史資料や文化財の活用、普及、生涯学習、教育に生かすことができたらと考え、教育委員会を希望しました。

◆ 当たり前のことを当たり前に行う大切さ

私は現在、給与、旅費、会計年度任用職員の報酬の支払、物品管理などを担当しています。期限までに報酬を支払うこと、支払が適正に行われるように情報を登録することなど、当たり前でできていなければいけないことが当たり前に行われるようにすることが私の業務であると認識しています。職員の給料など、お金に関わることを担当することが多いため、規則やマニュアルにしたがって誠実に業務に向き合わなければならないと日々感じています。

◆ 法令や条例を勉強する日々

これまでの仕事の中で印象に残っていることは、住民税の支払処理を忘れていて、手続きが遅れてしまったこと。幸い、何とか間に合いましたが、上司を巻き込んで所属全体で大慌てしてしまいました。それからは早めに払い出しをかけ、毎月決まった日に支払えるようにメモを残すなど、手続きを忘れないように工夫をしています。

まずは、自分の業務の根拠となる法令や条例等について勉強し、それに基づいて仕事をこなせるようになることを目標にしています。

学生の頃よりも自由な時間が減った分、休日は活発に動いている気がします。以前より休日が楽しみになりました。どうすれば休みを有意義に使えるかを考えて過ごすようにしています。



埋蔵文化財センター

河野 由芽

(令和4年度入庁)

【ある1日の業務内容】

8:20~	8:30~	9:00~	10:00~	12:00~	13:00~	17:15
出勤 業務準備	業務開始 メールチェック	旅行命令書の チェック	報酬、旅費の 支払処理など	昼休憩	物品調達、支払処理、 通勤手当の認定など	退勤



宮崎市立赤江小学校

荒武 亮汰

(令和4年度入庁)

◆ 「教育」というひとつの軸で仕事ができるのは 教育行政職員ならではの

県職員と聞くと、やはり知事部局の県庁本庁で働くイメージが強かったのですが、受験後に任命権者の選択の案内が来た際、教育行政職があることを知り、そういった道も面白いなと考え、私は知事部局と教育委員会の両方を選択しました。

知事部局で採用された場合には、様々な部署を転々しながらあらゆる分野について経験することになると思います。教育委員会でももちろん様々な部署を転々しますが、「教育」という一つの軸からはブレずに仕事ができるので、自分の中で一つ芯を持って仕事に取り組みめるという点では、同じ県職員でも教育行政採用ならではの思いです。

◆ 「学校」という組織の縁の下の力持ち的存在

現在勤務している小学校は大規模校であり、同じ県費負担事務職員が3人います。学校事務は、予算や給与、給食、備品管理など様々な業務がありますが、私は主に教職員の出張に係る旅費事務や、福利厚生の事務に従事しています。そのほか電話・来客対応や庶務作業など仕事の内容は多岐にわたり、事務職員は学校という組織の「教育以外」のほぼすべての分野が業務内容という、いわば縁の下の力持ち的存在です。仕事をする中で、子どもたちや先生方に感謝される機会が多く、とてもやりがいを感じます。

◆ 教育行政のスペシャリストを目指して

普段は用務員さんの仕事ですが、蛍光灯の交換依頼がくることがあり、脚立と蛍光灯を持って教室に向かうと、たくさん子どもたちが待っていました。作業をしていると、「がんばれー！」と応援する声や「あの先生だれ〜？」と叫ぶ声が聞こえてきて、危うく脚立から転げ落ちそうになりました。子どもたちがいる特殊な環境で働いているのだなと改めて実感するとともに、子どもからすれば事務職員の私も先生という立場であり、自らも教員と同じく教育に携わる職員であると自覚した瞬間でした。

今後の目標としては、今勤務している大規模校以外にも、へき地の学校や教育委員会での経験を経て、将来は教育行政のスペシャリストを目指したいと考えています。

【受験者へのメッセージ】

県職員の受験を考えている皆さんは、県庁での勤務をイメージしている方が多いかもしれませんが。私もそのひとりでしたが、教育行政職もやりがいがあって貴重な体験ができる職種でとても魅力的です。教育委員会は私のように教育分野に関心はあるけれど、あまり知識がないという人でも受け入れてくれる、器の広い組織だと思います。

行政の立場から携わることができる「教育行政職」という区分があるということをもっと知ってもらえると嬉しいです。



先輩職員 Voice 5

◆ 様々な部署で働けることが魅力

教育行政職は、未来を担う子どもたちの育成という、とても大切なことに関わる仕事ですので大きなやりがいを感じています。また、教育行政職は教育委員会や公立学校での勤務が主ですが、私は現在、知事部局に出向し、“こども家庭課”で勤務しています。このように、教育や子育てに関する様々な部署で働けることも魅力だと思います。子ども、保護者、教職員、その他職員、子育てに関わる各団体など、色々な立場の方々と連携した仕事を経験することができます。

◆ 教育と福祉の連携の重要性を実感

現在は、ひとり親家庭支援の一環として、ひとり親家庭に修学資金等を貸し付ける母子父子寡婦福祉資金の関係事務を行っています。

前所属の県立学校では、就学支援金や就学援助の関係事務をしていましたが、そのとき、子どもの経済的な支援の必要性や教育と福祉の連携の重要性を感じました。今の仕事では福祉の視野からのサポートについて学べるため、子どもの支援の枠組みがより多角的に見えてきたと思います。

◆ 立派に成長し巣立っていく生徒たちの姿

県立学校に勤務して3年目の卒業式が特に印象に残っています。私が事務職員として赴任した年に入学した生徒



福祉保健部こども家庭課

仲谷 雪

(平成29年度入庁)

たちが、3年間で立派に成長し巣立っていく姿を見送るのは感慨深く、その学校で3年間勤務できて本当に良かったと感じました。

【受験者へのメッセージ】

令和5年度に、こども政策推進の新たな司令塔として“こども家庭庁”が創設されますが、子どもをめぐる諸課題は年々多様化・複雑化し、それらに対応するには、知事部局・教育委員会はもちろんのこと、各市町村やNPOなどの緊密な連携が求められています。そのような状況下で、教育と福祉の両分野に精通した職員になるのが、私の目標です。

私は、採用試験を受けたときに、教育に特に関心があったため、教育行政職になれて良かったと思います。知事部局で行政全般に触れることもとてもやりがいがあると思いますが、教育に関わりたいという気持ちが強ければ、ぜひ教育行政職を選び、私たちの仲間になっていただきたいと思います。



文部科学省

深瀬 翔吾

(平成29年度入庁)

◆ 新しい教員免許管理システムに携わって

もともと教員になりたい気持ちもあり、何かしらの形で教育に関わる仕事がしたかったので教育行政職を希望しました。また、学校現場での勤務も経験もしてみたいと思っていました。

令和4年度から、文部科学省に勤務となり、現在は「総合教育政策局 教育人材政策課 教員免許企画室 更新係」に所属しています。更新係では主に教員免許の認定講習に関する業務や、教育委員会や大学が行う事業への補助金交付の審査、先日法令改正された教員免許更新制に関する業務、新しく構築される教員免許管理システム関連の業務を行っています。

特に免許管理システムの業務は、近年大きな話題となっている特定免許失効者(児童生徒へのわいせつ行為で免許が失効した人)のデータベース管理や教員の研修履歴管理が絡むもので、今後の教員免許制度に非常に大きな影響を与える業務だと思っています。

先輩職員
Voice 6

◆ 国会対応や法案成立に関わる貴重な経験

私の所属している教育人材政策課は、令和4年5月に法案成立した「教員免許更新制の発展的解消」に関する業務があり、特に私が何かしたわけではありませんが、その際の国会対応等で法案成立に関わることができたことが印象に残っています。

今後の目標

とりあえず今担当している教員免許の業務に関することを多く学び、県に戻ったときに活かすことができたらと思います。

休日の過ごし方

単身赴任で東京へ来ているため、ほとんど土日は友人と飲みに行っています。(感染症対策のため、宮崎へ帰る前は控えています)

子どもが小さいので会えないのがつらいですが、1~2か月に一度宮崎へ帰り家族に会うのをモチベーションにしています。

【受験者へのメッセージ】

私は入庁6年目ですが、教育委員会、小学校、文部科学省と全く業務内容も環境も異なる3か所で勤務しています。異動の度に新しく覚えなくてはならないことも多く大変なこともあります。色々な経験をすることができ、教育行政職を選んで良かったと思っています。興味のある方は、ぜひ教育行政職を選んでいただけたらと思います。



お問い合わせ先



宮崎県教育委員会

教育政策課 人事担当
〒880-8502 宮崎市橘通東 1-9-10
TEL : 0985-26-7554 FAX : 0985-26-7306

